

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

令和3年11月15日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		スペースが広々としているため、学習スペースと活動スペースを柵やパーテーションで区切ってあり、環境的に良いと思います。	事業所内は広々としており、利用定員に対して快適な広さです。広い空間を活かして、学習、遊び、読書スペース、保護者様とお話をするスペースなど、目的に応じて使いやすい環境になるよう、仕切りを設けたり、パーテーションを使用したりと工夫をしております。
	2	○		職員は法令の定めた基準を満たしており、職員全員が有資格者で、児童指導員、保育士、OT、PTで構成されています。	法令の基準を満たした人数で対応しています。日々の利用人数によって、人員確保や人員配置などを臨機応変に対応できるように努めています。
	3	○		事業所がビルの2階にあるために、階段昇降が必要となっております。しかし、2階の室内、トイレはバリアフリーとなっており、ほとんどがバリアフリー空間となっております。	事業所は2階に位置しているため階段の昇降できる方のみのご利用にに限られるところは課題です。こういった事業所の環境についてはご利用のお問い合わせの際に、必ずお伝えするようにしています。事業所内は写真やイラストを用いて児童に分かりやすい表示になるよう心がけており、過しやすい環境作りを努めております。
	4	○		課題点などがより良い支援に繋がるよう、積極的にコミュニケーションを図っている。	空気清浄機を使用したり、窓の開閉を常に行うことで、換気を行っています。今後も、清潔な空間づくりの維持に努めてまいります。
業務改善	5	○		シフト制であるため、参加できない職員もいますが、朝礼を毎朝行うようにしています。朝礼日誌を作成しているため、それを基に、情報を共有、把握できるようにしています。	今後も全職員の共通理解と共に支援していきけるよう、朝礼日誌や個別支援会議を通して、療育や支援の方向性を統一できるように努めてまいります。
	6	○		今回が初めての評価となりますが、保護者様からのご意見を把握し、全職員共通理解のもと今後に活かしていきたいと思っております。	今後も保護者様から頂いたアンケートをもとに、お客様の言葉は職員のモチベーションの糧として、ご意見は真摯に受け止め、業務改善への課題としてよりよい支援へと繋げていきたいと思っております。
	7	○		評価の結果は、COMPASS 発達支援センターの公式 Web サイトにて公開いたします。	今後も、毎年 Web 上で自己評価表の公開を行ってまいります。
	8	○		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者からの評価受審については今後の検討課題として検討してまいります。
適切な支援の提供	9	○		今年度は本社で企画制作された研修動画を朝礼などの時間を使い、視聴し資質の向上に努めております。	今後も積極的に研修会に参加し、研修会で得た情報を全職員へと啓発していきけるよう、事業所内の資質向上を図っていきたく思います。
	10	○		利用開始前や定期的に、保護者様に説明や確認を行い、課題を把握したうえで、児童の状況や、保護者様のニーズ等、把握した情報を支援計画に反映させております。	今後も、児童の気持ちに寄り添い、保護者様のご意向に耳を傾けながら支援計画を作成してまいります。
	11	○		標準化されたアセスメントツールを使用しております。また、モニタリング時には、統一されたチェックシートで状況を把握し、保護者様の意向の確認も行っております。	今後も継続して保護者様のご意向に沿って、適切に行ってまいります。
	12	○		ガイドラインの示す必要な項目から保護者様とのやり取りを通して得た情報を反映させ、また現在の課題の整理や新たな課題に向けた支援計画を作成しております。	今後もガイドラインを遵守し、保護者様に十分なご説明を行った上で、同意を得た支援へと繋げていけるよう努めてまいります。
	13	○		児童発達支援計画を全職員が把握できるように工夫しています。支援の方向性が全職員で統一したものにできるように日誌や会議録を通して、日頃から情報交換・情報共有に努めています。	今後も支援計画の内容に則した支援が、行えるよう努めてまいります。
	14	○		個別支援会議を通して、職員の一人ひとりが、それぞれの専門職の立場から意見を出し合い、支援の方向性を決め、活動内容を吟味しています。	今後も引き続き、職員間の情報交換や情報共有を心がけ、立案をおこなってまいります。
	15	○		活動内容が固定化しないよう、全職員のアイデアや支援方法などの意見交換の時間を大切にしています。その時間を通して、活動の内容や進め方に偏りが生じないように工夫しています。	今後も、職員間で意見を出し合い、児童に応じた立案をおこなってまいります。
	16	○		個別活動と集団活動を、一人ひとりの特性、発達段階、年齢、保護者様のニーズに応じて、計画的に組み込んでおります。	今後も同様に、それぞれの活動内容を組み合わせ、支援計画の作成をおこなってまいります。
	17	○		毎朝、朝礼を行い児童の様子や状況を伝達し、支援内容などの確認などを行っています。	今後もミーティングを継続し、当日の流れ、支援内容などの確認を行い情報共有に努めてまいります。
	18	○		勤務がシフト制のため、支援終了後の全職員での打ち合わせは行っていません。次の日の支援前には必ず打ち合わせを行い、共通理解を図っています。	今後も打ち合わせを行い、どんな小さな事でも意見を出し合いながら、共通理解に努めてまいります。
関係機関や保護者との連携	19	○		日々の療育内容や児童の様子は必ず記録しております。その記録をもとに支援の改善を図ったり、職員間で情報交換を行っております。	日々の療育内容や児童の様子は必ず記録しております。その記録をもとに支援の改善を図り、職員間で情報交換をおこなってまいります。
	20	○		半年に一度必ず、モニタリングを行い、毎日の送迎時にも現状の把握を行い支援計画の見直しをおこなっております。	今後も同様に、モニタリング時には、職員全員で児童の状況・課題を確認して支援計画の見直しをおこなってまいります。
	21	○		児童発達支援管理責任者だけでなくひとりの意見に偏らないよう、対象児童の状況を理解し、説明ができる職員と一緒に参加できるように努めています。	引き続き、児発管を中心に積極的に会議に参加し、職員間で情報交換を行ってまいります。
	22	○		関係機関と積極的に情報共有・相談を行い、連携した支援ができるよう努めております。	今後も更に地域との繋がりを大切にしながら連携出来るようにしてまいります。
	23	○		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	24	○		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	25	○		各専門機関と連携し情報交換を行っております。また、他の事業所とも意見交換ができるよう連携を図っております。	今後も関係機関とは積極的に連携を取り合い、研修や助言を受けるなど、事業所との繋がりを大切にしております。
	26	○		必要に応じて電話連絡や訪問を行い支援内容や活動内容などの情報共有を行い、相互理解を図っております。	今後も同様に、関係機関と連携して支援内容等の情報共有と相互理解を図ってまいります。
	27	○		必要に応じて電話連絡は行いますが今年度に関してはコロナ禍ということもあり、各専門機関と連携しての情報交換を行っておりません。	コロナ収束後は、積極的に連携を取り合い、研修や助言を受けるなどを心がけ、他事業所との繋がりを大切にまいります。
	28	○		本年度は事業所発信での機会はありませんでしたが、保育園や幼稚園に通う児童も多く、個々で障がいのない子どもとの交流があると考えております。	現在はコロナ禍であり、事業所発信の交流会の開催は大変難しい為、今後保護者様のご意向にそいながら、検討してまいります。
保護者への説明責任等	29	○		今年度は、コロナ禍のため会議等への参加の機会はありませんでした。	今後、協議会が開催される場合は、積極的に参加し、児童への支援に繋げていけるよう努めてまいります。
	30	○		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、その発達の内容や課題について共通理解を保持している。	これからの送迎時、連絡帳などでは伝えるだけの日の児童の様子をお伝えするよう心がけ、保護者様との共通理解に努めてまいります。
	31	○		保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対しての家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている。	今後も継続して保護者様に寄り添いわかりやすい文で助言やアドバイスを行ってまいります。
	32	○		運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	今後も、保護者様に安心してご利用をしていただけるよう、丁寧に説明を行ってまいります。
	33	○		ガイドラインから児童発達支援に必要な支援を選択し「児童発達支援計画」を作成しています。契約の際には、管理者・児発管より詳しい説明を行い、同意をいただいております。	今後も同様に意向や児童の状況に応じ、支援計画を作成し丁寧な説明を行ってまいります。
	34	○		定期的な、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	今後も継続して保護者様からのご相談やお悩み等をお聞きし、安心してご利用していただけるよう配慮してまいります。
	35	○		コロナ感染症予防の為、今年度は父母の会を開催することはできませんでした。	保護者会等の開催についてはコロナ収束後、保護者様のご意向に沿いながら検討してまいります。
	36	○		保護者様からのご相談や申し入れに対しては迅速に対応しております。全職員が共通理解に努め、保護者様や児童と安心してご利用いただける環境づくりを目指しております。	今後も保護者様からのお申し入れ、ご相談やお悩み等をお聞きし、適切に対応し、安心してご利用していただけるよう配慮してまいります。
	37	○		ブログや事業所だよりは職員間で意見を出し合い作成しており、日頃の様子などを定期的に事業所の様子を発信しております。	今後も定期的な情報発信を行ってまいります。また保護者様に伝わりやすいように工夫した内容にしていこう努めてまいります。
	38	○		個人情報、書類等を破棄する場合にはシュレッダーをするなど、全職員が常に細心の注意をおこなっております。	今後も継続して個人情報の取り扱いには、十分注意してまいります。
非常時等の対応	39	○		常に意思疎通には配慮し、主に連絡のやりとりには連絡帳や使い、送迎時にはできるだけわかりやすい言葉を使いより詳しい内容をお伝えしております。	今後も継続して児童や保護者様との意思の疎通や情報の伝達、共有に努めてまいります。
	40	○		今年度は地域住民の方たちを招待する企画運営はできておりません。	現在コロナ感染症予防のため行っておりませんが、コロナ収束後は、保護者様のご意向に添いながら検討してまいります。
	41	○		全職員共通理解のもと、事業所にマニュアルを設置しております。いかなる状況でも全職員が対応できるように訓練をおこない対応に努めていきます。	今後も継続してマニュアルに添って訓練を行い、緊急時には全職員が対応できるように努めてまいります。
	42	○		児童の安全を第一に考え、風水害、火災、地震、防災対策を行い、全職員共通理解のもと訓練を行っております。	今後も継続して訓練を行い、緊急時には全職員が対応できるように努めてまいります。
	43	○		保護者様に十分に確認を行い、緊急時には全職員が対応出来るよう共通理解に努めてまいります。	初めからマニュアルで必ず聞き取りをおこなうことを徹底してまいります。
	44	○		アレルギーについては、初期アセスメントで必ず聞き取りを行い、全職員共通理解と共に定期的に情報確認を行っております。	今後も継続して保護者様からの情報を頂き、全職員で共通理解に努めてまいります。
	45	○		ヒヤリハット作成後はすぐに全職員で確認を行い話し合い、再発防止に努めてまいります。	今後もヒヤリハット事例を作成し、全職員で改善点などを話し合い共通理解に努めてまいります。
	46	○		虐待を防止するため、定期的な児童への対応、様子などを話し、全職員が周知徹底に努めています。	今後は社内・社内外問わず研修などがあれば、積極的に参加して参りたいと思っております。
	47	○		利用契約書に身体拘束の禁止を記載しており、生命又は身体を保護するために、やむを得ず身体拘束を行う場合はあらかじめ文書により保護者様の同意を得ております。	今後も原則として身体拘束は行わない基本姿勢を守り、やむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ文書により保護者様からの同意を得て個別支援計画に記載してまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。